

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和4年3月31日

事業所名：運動療育センターすきっぷ 美和台教室

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 改善目標、工夫している点など | 具体的な改善目標 |
|----------|----|--|------|-----|---|---|
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | 100% | 0% | ◎一度に運動する人数を調整して行っている ◎その時の利用人数に応じて訓練室や個室等を確保することが出来ている ◎グループ分けを行い、ケガに対する配慮を行っている | |
| | 2 | 職員の配置数は適切である | 100% | 0% | ◎人数が欲しい時に少ない ◎児童指導員の数がもう少し欲しい | 必要配置基準より、多く職員を配置している。 |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている | 88% | 13% | ◎玄関にも段差がほとんどない ◎トイレには踏み台等を設置し、必要に応じて使用を促している | |
| 業務改善 | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している | 88% | 13% | ◎午前中に目標設定、終礼時に振り返りを行っている ◎都度検討し、誰でも出来る・分かる仕組みを行っている ◎活動に対して改善点など振り返る時間を作り、次回改善に向けての取り組みを行っている | 継続していきながら、新しい職員や異動してきた職員が「分かる・すぐ出来る」仕組みを都度検討していきながら改善を図ってきたい。 |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | 100% | 0% | ◎児童や保護者に都度意向を聞き、職員間での共有に努めている | |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している | 100% | 0% | | |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | 50% | 50% | ◎しているか分からない | 人事評価制度に基づきながら、業務等の改善を図ってきたい。 |
| | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | 100% | 0% | ◎療育協会に参加している ◎研修や勉強会を計画立てで行っている | 継続して、専門職、保育士・児童指導員等の職種を対象とした研修会に参加してきたい。 |
| | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している | 88% | 13% | | 今後もアセスメントを下に、職員共通認識・理解の下計画書作成に努めていきたい。 |
| 適切な支援の提供 | 10 | 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している | 100% | 0% | | |
| | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っている | 88% | 13% | ◎職員間で会議を行っている | |
| | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | 88% | 13% | ◎同じ運動でも種目を変えながら固定しないように努めている。また、1日活動もコロナ禍ではあるが、様々な活動を企画している | 継続して活動プログラムが固定しないように、工夫していき、お子様・保護者様に満足して頂けるような活動を企画してきたい。 |
| | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している | 88% | 13% | ◎事前に児童のその日の目標を定め、支援にあたっている | |
| | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している | 100% | 0% | | |
| | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | 100% | 0% | ◎支援に望む前に職員の動きやリスク管理等も全員で確認している | |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | 100% | 0% | ◎終礼後に振り返りの場を設け共有出来ている | |

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 改善目標、工夫している点など | 具体的な改善目標 |
|--------------|----|---|------|------|--|---|
| 適切な支援の提供 | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | 100% | 0% | | |
| | 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している | 100% | 0% | ◎ 3カ月毎に行っている ◎ 3カ月に1度のモニタリングを行い、支援の見直し等を行っている | |
| | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている | 75% | 25% | ◎ そのようにしているか分からない | 職員にガイドラインの周知を行っていく。 |
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | 88% | 13% | | |
| | 21 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている | 100% | 0% | ◎ 保護者様に週末の下校時刻等を教えてもらうことが出来ている | |
| | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている | 63% | 38% | ◎ そのようにしているか分からない ◎ 現段階で医療的ケアが必要な児童はいない | 必要に応じて、受け入れ体制を強化し連絡体制を整えていく。 |
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている | 25% | 75% | ◎ そのようにしているか分からない ◎ 保育園等からの情報共有は出来ていないが、保護者様よりサポートブック等いただいている | 保護者様よりサポートブック等を頂き職員間でしっかり共有していく。 |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している | 25% | 75% | ◎ しているか分からない ◎ 現段階で障がい福祉サービスへ移行する児童がいない | 今後、福祉サービスに繋がるようなお子様が出る場合も想定しながら就労等といった福祉サービスについても勉強しておく必要がある。 |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | 0% | 100% | ◎ 分からない ◎ そのようにしているか分からない | 研修会等に参加しながら連携を図っていきたいと思う。 |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある | 0% | 100% | ◎ コロナ禍ということもあり、出来ていない | コロナウイルスが落ち着けば検討していきたい。 |
| | 27 | （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している | 25% | 75% | | |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | 100% | 0% | | 継続して面談や送迎時のご様子等を伝えながら、お子様の課題等について共通理解の下検討していきたい。 |
| | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている | 75% | 25% | ◎ 必要に応じて家庭での見える化等の支援を行っている | 職員個々のスキルを磨いていながら支援をしていきたい。 |
| 保護者への説明責任等 | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | 100% | 0% | ◎ 契約時に説明している | |
| | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | 100% | 0% | | |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | 0% | 100% | ◎ コロナ禍の為、開催出来ていない | |
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している | 100% | 0% | | |

| | チェック項目 | はい | いいえ | 改善目標、工夫している点など | 具体的な改善目標 |
|------------------------------|---|------|-----|--|-----------------------------------|
| 保護者への説明責任等 | 34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | 75% | 25% | ◎ホームページ等を活用し発信している | |
| | 35 個人情報に十分注意している | 100% | 0% | | |
| | 36 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | 100% | 0% | | |
| | 37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | 13% | 88% | ◎コロナ禍では難しいが今後広げていきたい | |
| 非常時等の対応 | 38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している | 88% | 13% | ◎契約時に話をしている | 職員や保護者様に周知しやすい体制を整えていく。 |
| | 39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | 75% | 25% | ◎長期休みを中心に、火災・地震様々行っている | |
| | 40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | 88% | 13% | | 研修会等を通してしっかり職員が知識を持ち対応できるようにしておく。 |
| | 41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している | 63% | 38% | ◎そのようにしているか知らない ◎现阶段で身体拘束等を必要な児童はいない | 研修会等を通してしっかり職員が知識を持っておく。 |
| | 42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | 50% | 50% | ◎そのようにしているか分からない ◎医師の指示書ではないが保護者様にはアレルギーの有無を事前に聞き対応している | |
| 43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | 100% | 0% | | | |